

1. 日 時 令和4年5月15日（日）午前10時～12時
2. 場 所 是政文化センター 講堂
3. 出席者 30名
4. 書 記 芝喜久子

5. 地域市民の集いの概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、筒井、山岡、川辺、林田、久保寺、芝（9名）

是政文化センター圏域：中村、大久保、宮川、服部、福元、稲葉、大屋、吉田、大石、今井、内山、森屋、竹野、佐藤、坂本、山本、石坂、前島、太田、馬場、菊地（12団体：21名）

(3) 府中市自治会連合会／自治会についての説明（谷本）

懇談会の時間を多く取りたいので省略、助成金を使い自治会の活動を進めることを推奨、都等の助成金の説明。

(4) 四部会の活動状況

・市民協働対策部（山岡）

市民協働の審議会に参加。自治会活動賠償保険の説明と推奨。

・生活安全対策部（林田）

自治連ニュースから危機管理・オンライン防災・トランシーバー取り扱い整備事業等の説明。

ラジオフューズで防災町づくりの啓発、防災オンライン（Zoom）セミナーを都の助成金で開催。

・環境対策部（川辺）

年1回の視察研修（ビッグサイト）を予定、市の空家対策・ごみ減量化の会に参加。

・福祉対策部（久保寺）

国際福祉展（ビッグサイト）を予定、要援護者への支援活動の推進。

・デジタル部会創設（仮称）について（谷本）

現在模索中：元電気通信大学の教授（紅葉丘第1町会副会長）の意見を聞いてこれからのデジタル部会を創設。

(5) 懇談会

①国交省で多摩川の工事をしているが浸水状況を知る必要があるのでは、等々多摩川の氾濫への不安があり避難方法・避難場所確保の問題に対する多数の意見が交換された。

②水害は予想がつく、地震は予想がつかない。水害は個人で安全な避難所を確保する必要がある。早期避難が重要である。多摩川の水害時は高層マンションは垂直避難も可能となった。（府中市）

③災害は自治会が動けるのは事後の地道な支援、前もっての啓蒙啓発が役割、府中市のメールサービスシステム、マイライフタイムの活用、自助・共助の大切さを説く。

④参加者から、防災・リサイクル・掲示板について各町会の活動状況について質問があり、それを受け、現状に関して、出席者の町会で情報交換が出来た。

⑤是政文化センター圏域は多摩川に隣接しているので、水害に特化して防災意識が強い。充実した良い懇談会となった。

(6) 閉会 谷本事務局長

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--

